

毎週月曜日発行 購読料3か月12,000円(送料別込)
昭和62年11月14日第三種郵便物認可 ©物流産業新聞社 2017
物流ウィークリーではISO9001:2008認証を取得しています

東京本社 東京都中央区南7(ロクサンビル4階)
〒100-0007 電話03-5561-1111 FAX03-5561-1114
大阪本社 大阪市東区山崎4-15-14
電話06-6642-1111 FAX06-6642-1114
全国13拠点ネットワーク

定期購読のお申し込み・お問い合わせは
0120-76-0501
FAX 0120-79-0508

荷主とドライバー 直接つなぐ「DIAq」

セルート 物流版ウーバー開発

バイク便大手のセルート(東京都新宿区)は、荷主とドライバーを直接つなぐ「DIAq(ダイアック)」を開発。営業エリアを保持し、配送業者だけでなく、学生や主婦も配達者として活用する。いわゆる「物流版ウーバー」だ。

8月のリリースを目指している同アプリは、ユーザー(荷主)が配達や内容を入力すると、集荷先付近にいる配達者に希望条件に合わせて直接オファーできるというものの、デリバリー東日本営業本部の松崎也(本社部長)は「いままで、荷物をお願いしたい人、近くにいる配達者を直接つなぐことがアプリの革新的な点」と説明する。

同アプリで配送を担う対象には、「稼働時間などが一覽で比較できる」が、荷主は簡単に依頼可能なアプリを求めている。例えば、品川のオフィスから新宿へ向かうビジネスマンが目的地周辺のビルへ書類を届けたり、東京から大阪まで旅行で新幹線を利用する学生が「着者が定まる運賃や荷物の運びにくさ」を考慮して、時間や距離を比較できる。同アプリは、荷物の運送業者や軽貨物ドライバーだけでなく、徒歩や自転車、原付まで荷物運搬の手段を選べる。学生や主婦など、一般ユーザーが自らの空いた時間を利用して配達する。運賃は配達者側が自由に設定し、アプリで登録している配達者が定まる運賃や荷物運搬の運びにくさなどを考慮して、時間や距離を比較できる。同アプリは、荷物の運送業者や軽貨物ドライバーだけでなく、徒歩や自転車、原付まで荷物運搬の手段を選べる。学生や主婦など、一般ユーザーが自らの空いた時間を利用して配達する。運賃は配達者側が自由に設定し、アプリで登録している配達者が定まる運賃や荷物運搬の運びにくさなどを考慮して、時間や距離を比較できる。



松崎本部長(左)と田村氏

荷物を運ぶにすぎないという点で完結。「伝票やユーザーには引き下りも検定が必要ないため、急いで必要な時に仕事をこなす。時間や距離を比較できる。同アプリは、荷物の運送業者や軽貨物ドライバーだけでなく、徒歩や自転車、原付まで荷物運搬の手段を選べる。学生や主婦など、一般ユーザーが自らの空いた時間を利用して配達する。運賃は配達者側が自由に設定し、アプリで登録している配達者が定まる運賃や荷物運搬の運びにくさなどを考慮して、時間や距離を比較できる。同アプリは、荷物の運送業者や軽貨物ドライバーだけでなく、徒歩や自転車、原付まで荷物運搬の手段を選べる。学生や主婦など、一般ユーザーが自らの空いた時間を利用して配達する。運賃は配達者側が自由に設定し、アプリで登録している配達者が定まる運賃や荷物運搬の運びにくさなどを考慮して、時間や距離を比較できる。

学生や主婦を活用



アプリ画面(提供写真)

頻度は増えている」と考えた。同アプリは、新たな取組を推進する。現状のアプリの開発秘話を明らかにし、今後の取組について話す。また、東京都が「DIAq」の導入を推進している。同アプリは、荷物の運送業者や軽貨物ドライバーだけでなく、徒歩や自転車、原付まで荷物運搬の手段を選べる。学生や主婦など、一般ユーザーが自らの空いた時間を利用して配達する。運賃は配達者側が自由に設定し、アプリで登録している配達者が定まる運賃や荷物運搬の運びにくさなどを考慮して、時間や距離を比較できる。同アプリは、荷物の運送業者や軽貨物ドライバーだけでなく、徒歩や自転車、原付まで荷物運搬の手段を選べる。学生や主婦など、一般ユーザーが自らの空いた時間を利用して配達する。運賃は配達者側が自由に設定し、アプリで登録している配達者が定まる運賃や荷物運搬の運びにくさなどを考慮して、時間や距離を比較できる。

省交貨物自動車運送事業法関係なし

「個人による白トビ行為ではないのか」という疑問に対して、国土省の貨物課に確認すると、「他の法律に適用されるかは分からない」としながらも、「車両を使わないのであれば、一般貨物自動車運送事業や貨物軽自動車運送事業に該当しないため、貨物自動車運送事業法とは関係がない」と説明。行政書士高橋幸也(千葉県野田市の高橋幸也氏)も、「いわゆる自転車(メッセンジャー)を開始する際も、特に許可などは不要なため問題はない。おもむきのみだ」と思うが、ユーザー、配達者、運送会社の三者、しりとりで契約を結ぶことについても許可は不要だが、車内に持ち込める荷物の種類は鉄道会社によって異なる、持ち込めずのものもあるため注意が必要」とも。(大西友洋)